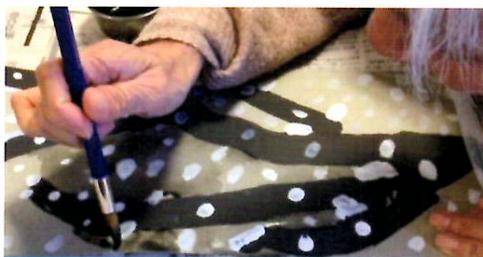


# ナラティブ・アプローチの世界へ

## －意味をつなぐ臨床美術士の役割を考えるI－

ナラティブ(語り)は言葉の連なりです。言葉を連ねることによって、私たちは自己を満たして生きることができます。また、言葉によって他者とつながることも出来ます。そして、私たちは言葉によって、あるいは語りによって、「自分の現実(生きる)」を他者に関わられながら、つくり続けている存在だと言えます。

臨床美術士マインドとして存在論的人間観を私たちは学びました。「いてくれてありがとう」という語りを私たちが共有していることは、極めて重要なことです。この言葉があることが、人々の存在の仕方の現実を問う力になるからです。そして、私たちは語りによってそこに開いた世界に対して、臨床美術士として語り、そして、アートの力による非言語的な語り(表現)の力も用いて、「いてくれてありがとう」を現実にするために、ともに生きられる場をつくり出し更新していかなければならないと思うのです。アートプログラムのなかでも、語りの力が発揮されます。語りの表層は言語ですが、深層は身体です。それらが丸ごと働いて出来ごとは紡がれていくのです。ナラティブ



臨床美術プログラム制作風景

(語り)は、これからの社会の中で臨床美術の役割、あるいは臨床美術士の役割を考える上で、重要な支柱になる視点であると、私は考えています。

ナラティブの視点の持つ魅力について、少しでもお伝えできればと思っています。

### 講師プロフィール



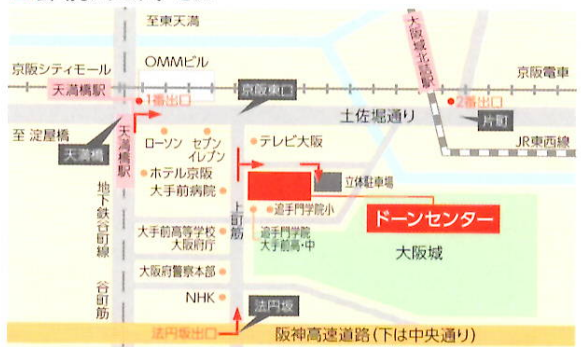
北澤 晃 先生

富山福祉短期大学教授(前学長)  
2006年に兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科にて博士号取得(学校教育学)。特に美術教育学、教育方法論、ナラティブ・アプローチの研究に従事。2006年より富山福祉短期大学において臨床美術士養成に取り組む。自らも臨床美術士1級取得。日本臨床美術協会常任理事、臨床美術学会常任理事として臨床美術の振興に努める。  
主な著書 /『造形遊びの相互行為分析』、せせらぎ出版、2007 /『未来をひらく自己物語 ～書くことによるナラティブ・アプローチ～』、せせらぎ出版、2011 /『未来をひらく自己物語 ～ナラティブ・トレーニングのすすめ～』せせらぎ出版、2012 他

### 講座概要

- [日 時] **2017年12月10日(日)**  
**14:00～15:40**
- [場 所] **ドーンセンター大阪府立男女共同参画・青少年センター 大会議室1**
- [対 象] **一般、臨床美術士 (更新制度単位取得対象講座:3単位)**
- [受講料] **5,000円(税込)**

### 会場までのアクセス



### 申し込み方法

- ① FAXまたはメールにてお申込みください。 ※必ず件名に「大阪ナラティブ講座申込」とご明記ください。

[申込先] **特定非営利活動法人 日本臨床美術協会 事務局**  
Fax:050-3737-9007 Mail:association@arttherapy.gr.jp

- ② 受講料は締切日までに下記までお振込みください。

郵便局  
から

郵便振替口座  
00150-4-740354  
特定非営利活動法人 日本臨床美術協会

金融機関  
から

ゆうちょ銀行 ○一九(ゼロイチキュー)店(019)  
当座 0740354  
特定非営利活動法人 日本臨床美術協会

[申込締切] **2017年11月27日(月)** [定員] **60名** ※定員になり次第、大切とさせていただきます。予めご了承ください。また、お申込み人数が規定の催行人数に達しない場合、講座開催を中止させていただく場合がございます。

主催

特定非営利活動法人 日本臨床美術協会